

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	まんてん住之江安立教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月27日		～ 令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和8年1月27日		～ 令和8年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの発達に応じた個別療育と小集団療育を毎回実施しています。	・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言動・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を取り入れ、個々のニーズに合わせた個別療育に取り組んでいます。また、順番やルールのある活動を学ぶ小集団療育にも取り組んでいます。	・総合的な発達支援を色々な方向から行えるように、職員同士での話し合いや情報交換を更にしっかりと行っていこうと思います。
2	・その日の療育内容やできごとについて、送迎時に細かく説明をし、情報共有しています。	・どんなことをしたのかが分かりやすいように担当した職員が、写真などを使って丁寧に説明し情報共有しています。	・現状維持で取り組んでいこうと思います。

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士なんでも意見が言えるような風通しの良い環境を整えております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの小さな変化もすぐに報告・相談・共有・話し合いをし、対応できるよう取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士誰とでも意見交換しやすいように、日頃からしっかりとコミュニケーションを取るとともに、その場にはない職員にもしっかり共有できるよう心がけていきます。</li> </ul>
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容のバリエーション。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動や取り組みをしているが、もっと個々に合った良い療育や支援が可能ではないか。活動一つにしても別の視点から見えてくるものがあるかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の意見に寄り添った内容を取り入れる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の環境整備の見直し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険につながるもの等は子どもの視界、手に触れないよう管理は行っているが、子どものイレギュラーな動きに焦ってしまう事があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確保を第一優先で、配置のレイアウトを行い活動がしやすい、切り替えやすいにすることで危険リスクを軽減し見通しを持ちやすい配置で安心感に繋がりたいと思います。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用希望者の方が多いが、退会者も少なく、支援が必要だと思われるお子さん達にご利用いただけない事です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期療育の大切さを知っていただき、年齢が低い時から支援させていただける様に周知活動を行っていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのお子さんにも無限の可能性のある事、可能性を引き出すサポートをさせていただく、保護者とお子さんにとって優しい居場所となるように努めていきます。</li> </ul>